

令和6(2024)年度 社会福祉法人あかつき福祉会

【決 算 書】

社会福祉法人あかつき福祉会

令和 6 (2024) 年度 社会福祉法人あかつき福祉会 決 算 書

目 次

【事業報告書】

あかつき福祉会の 1 年	1
1. 全体概要報告	2
2. 法人本部(総務課)	4
3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり	
①就労継続支援 B 型事業	6
②生活介護事業	8
4. わんすてっぷ	10
5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園	
①園管理運営事業	12
②生活介護事業	14
③施設入浴サービス事業	16
④社会福祉増進事業	17
6. 地域生活総合支援センター	
①共同生活援助事業・日中サービス支援型共同生活援助事業・短期入所事業	18
②居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業	20
③相談支援事業	22
7. 事故・苦情・ヒヤリハット等の状況	24
8. 地域参加・交流状況	27
9. 職員研修実施状況	28
10. 実習生受入状況	29
11. ボランティア受入状況	30
12. 視察・見学状況	31
13. 講師派遣状況	32
14. 役員名簿	33
15. 組織図	35
16. 職員内訳	36

【計算書類】

1. 法人単位資金収支計算書	37
2. 法人単位事業活動計算書	38
3. 法人単位貸借対照表	39
4. 計算書類に対する注記	40
5. 決算附属明細書	43
①固定資産管理台帳、固定資産増減明細表	44
②寄附金収益明細表	48
③補助金事業等収益明細書	49
④事業区分間及び拠点区分間繰入金明細書	50
⑤基本金明細書	51
⑥国庫補助金等特別積立金明細書	52
6. 社会福祉事業区分	
①資金収支内訳表	53
②事業活動内訳表	54
③貸借対照表内訳表	55
7. 瀬川拠点区分	
①資金収支計算書	56
②事業活動計算書	58
③貸借対照表	60
④計算書類に対する注記	61
＜決算附属明細書＞	63
①基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書	64
②引当金明細書	65
③事業活動明細書	66
④積立金・積立資産明細書	67
⑤サービス区分繰入金明細書	68
⑥就労支援事業別事業活動明細書（多機能型事業所等用）	69
⑦就労支援事業製造原価明細書（多機能型事業所等用）	70
⑧就労支援事業販管費明細書（多機能型事業所等用）	71
⑨事業未収金明細表	72
⑩未収金明細表	72
⑪前払金明細表	72
⑫事業未払金明細表	72
⑬職員預り金明細表	74

8. 西小路拠点区分	
①資金収支計算書	75
②事業活動計算書	77
③貸借対照表	79
④計算書類に対する注記	80
＜決算附属明細書＞	82
①基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書	83
②引当金明細書	84
③事業活動明細書	85
④積立金・積立資産明細書	86
⑤事業未収金明細表	87
⑥事業未払金明細表	87
9. 地域生活総合支援センター拠点区分	
①資金収支計算書	88
②事業活動計算書	90
③貸借対照表	92
④計算書類に対する注記	93
＜決算附属明細書＞	95
①基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書	96
②引当金明細書	97
③事業活動明細書	98
④積立金・積立資産明細書	99
⑤サービス区分繰入金明細書	100
⑥事業未収金明細表	101
⑦未収補助金明細表	101
⑧立替金明細表	101
⑨前払金明細表	101
⑩預り金明細表	101
⑪事業未払金明細表	102
10. 財産目録	104

令和6(2024)年度 社会福祉法人あかつき福祉会
事業報告書

社会福祉法人あかつき福祉会

あかつき福祉会の1年 -令和6(2024)年度-

2024年4月



お花見<ささゆり園>

5月



所外活動(ハーベストの丘)
<あかつき園・ワークセンターささゆり>

6月



クリーン・みのお作戦<支援センター>

6月



ふれあいバザー出店(大阪ガスビル)
<あかつき園・ワークセンターささゆり>



園外活動(安満遺跡公園)<ささゆり園>

7月



防災体験(あべのタスカル)
<あかつき園・ワークセンターささゆり>

8月



プール活動
<あかつき園・ワークセンターささゆり>

10月



園外活動(神戸シーワールド)
<ささゆり園>



あかつきまつり

10月



所外活動(大阪市立自然史博物館)
<あかつき園・ワークセンターささゆり>

11月



グループホームでみかん狩り
<支援センター>



障害者事業団実習(喫茶るうぷ)
<あかつき園・ワークセンターささゆり>

12月



クリスマスリース完成<わんすてっぷ>

2025年1月



全市一斉防災訓練 安否報告
<ささゆり園>

2月



ペットホテルキャブ引取り(豊川南小学校)
<あかつき園・ワークセンターささゆり>

1. 全体概要報告

(1) あかつき園建て替え対応

【箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり】

- あかつき園建て替え工事により敷地内西側が使用できなくなることに備えて、ワークセンター棟内に新たな活動場所を確保した。活動場所には新たにパーテーションを設置し、利用者の個室スペースを確保するとともに室内導線の整理を行った。
- 建て替え工事時の安全対策でワークセンター棟の入口扉を電子錠化した。
- あかつき園建て替え工事が始まり、ごみ袋の在庫置き場として使用していた「温室」が解体されるなか、クリーンセンターへの移送・保管を含め在庫置き場の確保を適宜行った。

(2) 指定管理期間の3年延長

【箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり】

あかつき園・ワークセンターささゆりの指定管理期間が、令和7年度から3年間の再延長となり、令和7年度指定管理料は5,923万円（前年度比+323万円）となった。

(3) 医療的ケア対応増への対応

【箕面市立障害者福祉センターささゆり園】

医療的ケア対応強化のために看護師3名/日から4名/日体制に増員するとともに、訪問看護事業所や医療機関との連携に取り組んだ。

(4) 次期指定管理者に選定

【箕面市立障害者福祉センターささゆり園】

10月に公募されたささゆり園の次期指定管理者に応募し、書類審査・プレゼン審査を経て引き続き令和7年度から10年間の指定管理者に選定された。

(5) 第4つながりの家の転居

【地域生活総合支援センター】

グループホーム（第4つながりの家）について家主と協議を重ねた結果、賃貸借契約を3月末で終了することとなった。関係者や不動産会社を通じて物件探しを行い、箕面市内で新規物件を確保し、3月上旬に新住居への引っ越しを完了した。

【令和6(2024)年度実施事業等】

1. 法人本部(総務課)

2. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり〈指定管理〉

- | | |
|---------------|--------|
| 【実施事業】①生活介護事業 | 定員 70名 |
| ②就労継続支援B型事業 | 定員 10名 |

3. わんすてっぷ

- | | |
|---------------|--------|
| 【実施事業】 生活介護事業 | 定員 15名 |
|---------------|--------|

4. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園〈指定管理(④を除く)〉

- | | |
|----------------|--------|
| 【実施事業】①園管理運営事業 | |
| ②生活介護事業 | 定員 20名 |
| ③施設入浴サービス事業 | |
| ④社会福祉増進事業 | |

5. 地域生活総合支援センター

- | | |
|---------------------------|----------|
| 【実施事業】①共同生活援助事業 | 定員 28名 |
| (第2つながりの家) | |
| ②日中サービス支援型共同生活援助事業／短期入所事業 | |
| (第11つながりの家) | 定員 8名／1名 |
| ③居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業 | |
| (ヘルパーステーション「ウイズ」) | |
| ④相談支援事業 | |
| (ウイズ) | |

2. 法人本部（総務課）

(1) 概要

- 10月に公募されたささゆり園の次期指定管理者に応募し、書類審査・プレゼン審査を経て引き続き令和7年度から10年間の指定管理者に選定された。
- あかつき園・ワークセンターささゆりの指定管理期間が、令和7年度から3年間の再延長となり、令和7年度指定管理料は5,923万円（前年度比+323万円）となった。
- ささゆり園が大幅な赤字となった一方、あかつき園・ワークセンターささゆりの指定管理料見直し等に伴う収支の改善、地域生活総合支援センターの収入が年間通じて堅調に推移したことなどから、令和7年度の法人全体での収支差額は761万円（前年度比+541万円）であった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	利用者支援記録DBの探索・導入	○利用者支援記録ソフト等に関する情報収集は行ったが、記録ソフト等の導入には至らなかった。
2	虐待防止・サービス向上の取り組み	○虐待防止セルフチェック（8月・2月）及び虐待防止・サービス向上委員会（9月・3月）を、各年2回継続的に開催した。 ○7月から2月にかけて4つのグループで事例検討会を開催した。3月の経営企画会議で各会の検討状況について報告・共有を行った。 ○他施設での事故や虐待事例を紹介し注意喚起を図るためのコンプライアンス情報を作成・周知する取組を四半期ごとに行った。
3	第三者評価の受審後の対応	○令和5年度に受審した第三者評価のなかでb評価を受けた事項について、所属長会議で改善対応方法について検討・共有するとともに、改善対応を適宜実施した。
4	新長期計画の推進	○長期計画PTを3カ月ごとに開催し、進捗状況や課題について確認した。
5	人材確保・育成	○インターネット求人等を活用して募集活動を行い、支援職員1名・臨時職員3名を採用した。 ○ハローワークを通じた応募者が大幅に減少していることから、人材派遣会社を通じて継続的に派遣職員の確保・受入を行った。 ○8月に正規職員研修としてBCP研修・訓練を実施した。他事業所にも参加呼びかけを行い、正規職員13名+他事業所職員7名で災害対応について検討・議論を行った。 ○障害福祉関連のeラーニングコンテンツを使い、各部門・チームにおいておよそ月1回ペースで研修会の実施に取り組んだ。
7	地域交流の促進・広報活動の強化	○10月に「あかつきまつり」を開催し、ステージイベントや抽選会等を実施した。雨天のため急遽室内開催となったが、近隣地域より406名の来場者があった。 ○6月「クリーン・みのお作戦」、7月「西南ちいきみんな食堂」、11月「いきいきふれあい広場」「みんなおいでよ交流会」、1月「みのおカラフルタウンマルシェ」などの地域イベントに参加した。 ○令和6年度より新たに大阪ガスネットワーク(株)・Daigasグループ“小さな灯”運動主催の「ふれあいバザー」に参加して、大阪市の御堂筋沿いで年4回の出店を行い、野菜・さをり製品・指編み製品等を販売した。 ○ブログを年107回（月平均8.9回）更新した。 ○広報誌「あかつきだより」を3カ月ごとに年4回発行し、利用者家族や関係機関のほか近隣46自治会にも配布・回覧を行った。
8	外部監査・指導監査の受審後の対応	○令和5年度に受審した自主監査での会計士の指摘・助言もふまえた会計処理を行った。 ○令和5年度に受審した箕面市指導監査の指摘事項を受けて、評議員会の開催手続きに関する改善を行った。

9	収支状況の改善	○あかつき園・ワークセンターささゆりの生活介護事業は利用者減や報酬改定の影響で収入減となったが、指定管理料増や職員未確保に伴う人件費減などの結果、収支差額は▲153万円（前年度比+682万円）となった。 ○ささゆり園の生活介護事業は逝去に伴う利用者減や長期入院等により大幅な収入減となったことから、収支差額は▲1,074万円（前年度比▲1,097万円）となった。 ○地域生活総合支援センターは、グループホーム・居宅介護・移動支援の利用が堅調に推移したことから、収支差額は1,054万円（前年度比+278万円）となった。 ○これらの結果、令和7年度の法人全体での収支差額は761万円（前年度比+541万円）であった。
10	経営基盤の強化	○10月に公募されたささゆり園の次期指定管理者に応募し、書類審査・プレゼン審査を経て引き続き令和7年度から10年間の指定管理者に選定された。 ○あかつき園・ワークセンターささゆりの指定管理期間が、令和7年度から3年間の再延長となり、令和7年度指定管理料は5,923万円（前年度比+323万円）となった。 ○あかつき園建て替えに関する箕面市との継続協議を行った。

(3) 今後について

- 引き続き、あかつき園建て替えを含めた瀬川地区再編について箕面市と協議・対応していく。
- 現長期計画の達成状況をふまえ、令和8年度以降の新長期計画（5ヵ年）の検討・策定を行っていく。
- 法人全体並びに各事業について、収支改善に引き続き取り組んでいく。

(4) 理事会・評議員会等開催状況

理事会	・ 第1回 令和 6年 6月10日 ・ 第2回 令和 6年 9月13日 ・ 第3回 令和 6年12月13日 ・ 第4回 令和 7年 1月24日 ・ 第5回 令和 7年 3月26日	案件 = 令和5(2023)年度決算 など 案件 = 臨時職員給与規則の一部改正 など 案件 = 基本財産の処分 など 案件 = 令和6(2024)年度補正予算 案件 = 令和7(2025)年度事業計画及び予算 など
評議員会	・ 第1回 令和 6年 6月25日 ・ 第2回 令和 6年12月24日	案件 = 令和5(2023)年度決算 など 案件 = 基本財産の処分
・ 評議員選任 ・ 解任委員会	・ 第1回 令和 6年 6月10日	案件 = 評議員の辞任及び選任
運営協議会	・ 第1回 令和 6年 5月30日 ・ 第2回 令和 7年 3月14日	案件 = 令和5(2023)年度決算 など 案件 = 令和7(2025)年度事業計画及び予算 など

3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり

<就労継続支援B型事業>

(1) 概要

- 令和6年度より、新たに大阪ガスネットワーク(株)・Daigasグループ“小さな灯”運動の「ふれあいバザー」に参加して、大阪市の御堂筋沿いでの販売・接客に取り組んだ。
- 社会スキルアップ活動としてお金に関する理解を深められるよう、金種の勉強会、模擬買い物体験、コンビニ買い物体験、バザー出店時の接客（商品とお金の受け渡し）などの取り組みを1年を通して行った。
- あかつき園建て替え工事が始まり、ごみ袋の在庫置き場として使用していた「温室」が解体されるなか、クリーンセンターへの移送・保管を含め在庫置き場の確保を適宜行った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	所外活動等の活動充実化	○春に安満遺跡公園へ、秋に神戸動物王国へ所外活動を実施した。 ○令和6年度より新たに、大阪ガスネットワーク(株)・Daigasグループ“小さな灯”運動の「ふれあいバザー」に参加して、大阪市の御堂筋沿いでの販売・接客に取り組んだ。 ○7月に利用者2名と「あべのタスカル（大阪市立阿倍野防災センター）」で防災体験を行った。 ○12月に敷地内での冬のイベントとして「ピザを食べよう！」を実施した。
2	多様な働く機会や社会生活に必要な経験の提供	○箕面市障害者事業団での体験実習として、花壇管理・植物リースに1名が延べ10日間（前年度2名・延べ20日間）参加するとともに、喫茶部門にも2名が延べ18日間参加した。 ○社会スキルアップ活動としてお金に関する理解を深められるよう、金種の勉強会、模擬買い物体験、コンビニ買い物体験、バザー出店時の接客（商品とお金の受け渡し）などの取り組みを1年を通して行った。
3	第三者評価の結果を受けた改善の取り組み	○個人医療票や個別支援計画書等の書類については、鍵付きの棚に保管し、個人情報の取り扱いを徹底した。
4	製袋事業の安定的な運営、在庫数の調整	○あかつき園建て替え工事が始まり、ごみ袋の在庫置き場として使用していた「温室」が解体されるなか、クリーンセンターへの移送・保管を含め在庫置き場の確保を適宜行った。 ○製袋作業のシェア事業所と適宜情報交換しながら、製品・材料の受け渡し等を円滑に行った。
5	虐待防止・サービス向上の取り組み	○ミーティング等で虐待防止等の意識付けを継続的に行うことで、8月の虐待防止セルフチェックで結果が低下していた6項目について、2月の同セルフチェックでは結果を改善することができた。 ○虐待防止研修を12月に実施した。これまでの研修では、文章事例をもとにして職員間で検討・議論するかたちで実施してきたが、今年度は事例イメージの共通化を図るため、全員で同じ映像事例を視聴した上で検討・議論するかたちで実施した。 ○利用者対象の施設内での健康診断（7月）、歯科検診（10月）、インフルエンザ予防接種（11月）をそれぞれ実施した。
6	感染症対応の継続	○11月に感染症認定看護師による感染症対策研修を実施した。支援現場での感染症対策の取り組みに関する講義と実技による指導を受けて、指導に基づく更なる感染症対策の取り組みの改善に取り組んだ。
7	利用率向上・収入増に向けた取り組み	○新型コロナ禍が落ち着いたこともあり、平均利用率は94.3%（前年度比+3.0%）に改善した。 ○令和6年度報酬改定により新たな職員配置区分が設けられたこと、指定管理料増があったことから、訓練等給付費収入は1,106万円（前年度比+172万円）、収支差額（就労支援事業を除く）は581万円（前年度比+427万円）となった。
8	新規利用者の確保	○相談支援事業所を通じて企業で就労していた方の定年後の活動場所として見学・体験を実施したが、通所利用には至らなかった。

(3) 今後について

- あかつき園建て替え工事が進むなかでの製袋事業の安定運営に向けて、仕入事業者や配送事業者、作業シェア事業所、箕面市などと引き続き調整・協議を行いながら対応を図っていく。
- あかつき園建て替え工事中も、利用者が安心して過ごし作業や活動に取り組めるよう環境整備に取り組んでいく。
- 新規利用者の確保に向けて、相談支援事業者や支援学校等との連携強化を図っていく。

(4) 主な活動内容

①生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	令和5年度	令和6年度
箕面市指定ごみ袋の生産	88,304,829円	87,019,571円
館内清掃	100,000円	100,000円
ペットシャンプーボトル詰め替え	73,128円	88,770円
計	88,477,957円	87,208,341円

イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃額（特別工賃を含んで換算）

令和5年度	令和6年度	前年度比
13,215円	15,763円	119.2%

②施設外支援

実習先	参加人数（実数）	参加延べ日数	職 種
箕面市障害者事業団	1名	10日	緑化部門（花壇管理等）
	2名	18日	喫茶部門

③その他の活動

- 健康活動（ラジオ体操、ウォーキング、ダンス等）
- 創作活動（手芸、ピニャータ作り等）
- 社会活動（御堂筋バザー、ふれあいバザー、地域清掃等）
- 所外活動（安満遺跡公園、神戸どうぶつ王国）

(5) 在籍者状況（令和7年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
令和6年度	6名	33.7歳	15.7年	94.3%	5.7名
令和5年度	6名	32.7歳	14.7年	91.3%	5.5名

令和6年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	0名	0名	3名	3名	0名	0名

3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり ＜生活介護事業＞

(1) 概要

- 4月から1名の新規利用者を受け入れた。家族の食事に関する不安について事前に協議・対応し、当該不安に関わる事案は発生せず、安心して利用の開始・継続をすることができた。
- 建て替え工事時の安全対策でワークセンター棟の入口扉を電子錠化した。
- 利用者減や報酬改定の影響で、介護給付費収入は1億7,668万円（前年度比▲596万円）となったが、支出削減や指定管理料増などにより収支差額は▲153万円（前年度比+682万円）となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	関係機関との連携強化	○利用者のグループホーム入居、ショートステイ体験利用等に際して送迎時間の調整を図るとともに、円滑な利用開始に向けて各事業所や相談支援事業所等との調整・対応を行った。
2	所外活動等の活動充実化	○春と秋の年2回、所外活動を実施した。ハーベストの丘、大阪市立自然史博物館など比較的遠方まで活動範囲を広げるとともに、公共交通機関での移動も採り入れるなどして取り組んだ。
3	第三者評価の結果を受けた改善の取り組み	○衛生環境の改善と適温による提供を行うため、給食の配膳から食事開始までの時間を短縮できるよう取り組んだ。
4	利用者の生活環境の調整、チーム編成の検討・実施	○あかつき園建て替え工事により敷地内西側が使用できなくなることに備えて、ワークセンター棟内に新たな活動場所を確保した。活動場所には新たにパーティションを設置し、利用者の個室スペースを確保するとともに室内の導線の整理を行った。 ○建て替え工事時の安全対策でワークセンター棟の入口扉を電子錠化した。
5	虐待防止・サービス向上の取り組み	○ミーティング等で虐待防止等の意識付けを継続的に行うことで、8月の虐待防止セルフチェックで結果が低下していた6項目について、2月の同セルフチェックでは結果を改善することができた。 ○虐待防止研修を12月に実施した。これまでの研修では、文章事例をもとにして職員間で検討・議論するかたちで実施してきたが、今年度は事例イメージの共通化を図るため、全員で同じ映像事例を視聴した上で検討・議論するかたちで実施した。 ○利用者対象の施設内での健康診断（7月）、歯科検診（10月）、インフルエンザ予防接種（11月）をそれぞれ実施した。
6	感染症対応の継続	○11月に感染症認定看護師による感染症対策研修を実施した。支援現場での感染症対策の取り組みに関する講義と実技による指導を受けて、指導に基づく更なる感染症対策の取り組みの改善に取り組んだ。 ○これまで家族の作業室内への見学は控えてきたチーム別懇談会も、下半期には家族に直接利用者の様子を見てもらえるかたちにした。
7	医療的ケアが必要な利用者への対応	○安全衛生委員会を毎月実施した。 ○年度末時点で、喀痰吸引が実施できる生活支援員は11名（前年度比▲1名）となった。
8	利用率向上・収入増に向けた取り組み	○新型コロナ禍が落ち着いたこともあり、平均利用率は91.1%（前年度比+1.7ポイント）に改善した。 ○令和6年度報酬改定により、施設内での利用時間ごとの報酬算定となったことから送迎サービスや利用時間の調整を行った。 ○利用者減や報酬改定の影響で、介護給付費収入は1億7,668万円（前年度比▲596万円）となったが、支出削減や指定管理料増などにより収支差額は▲153万円（前年度比+682万円）となった。
9	新規利用者の受け入れ対応	○4月から1名の新規利用者を受け入れた。家族の食事に関する不安について事前に協議・対応し、当該不安に関わる事案は発生せず、安心して利用の開始・継続をすることができた。

(3) 今後について

- あかつき園建て替え工事中も、利用者が安心して過ごし作業や活動に取り組めるよう環境整備に取り組んでいく。
- 工事期間中も、利用者家族や相談支援事業所、関係機関と連携して、利用者に対する支援の充実に取り組んでいく。

(4) 主な活動内容

①生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	令和5年度	令和6年度
箕面市指定ごみ袋の生産	1,440,000円	1,440,000円
農園芸	378,807円	564,875円
さをり製品の生産・販売	65,920円	100,434円
指編み製品の生産・販売	29,600円	17,400円
ペットボトル、アルミ缶リサイクル等	105,190円	120,879円
館内清掃	400,000円	400,000円
計	2,419,517円	2,643,588円

イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃

令和5年度	令和6年度	前年度比
739円	666円	90.1%

②その他の活動

- 健康活動（機能維持訓練、ダンス、ストレッチ、ウォーキング等）
- 日常生活・社会適応訓練（外出を伴うものは実施なし）
- 創作活動（書道、手芸、季節の壁面飾り等）
- 文化活動（音楽療法、音楽活動、音楽・DVD鑑賞、紙芝居等）
- 所外活動（北大阪急行で箕面新駅を利用、ハーベストの丘、馬見丘陵公園、カップヌードルミュージアム、服部緑地、万博記念公園、高槻しいたけセンター、大阪市立自然史博物館、伊丹市昆虫館、淡路サービスエリア）

(5) 在籍者状況（令和7年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
令和6年度	60名	34.4歳	15.4年	91.1%	54.1名
令和5年度	59名	33.6歳	14.7年	89.4%	54.7名

令和6年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	34名	19名	7名	0名	0名	0名

4. わんすてっぷく生活介護事業>

(1) 概要

- 利用者の平均年齢が58.3歳と徐々に高齢化が進むに伴い、入院や家庭環境の変化が生じた場合において関係先と連携のうえ対応した。
- 利用者の私的理由による欠席はあったが平均利用人数は8.9名（前年度比+0.2名）となった。介護給付費収入は令和6年度報酬改定の影響等もあり、2,594万円（前年度比▲21万円）となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	家族・関係機関との連携	○利用者や家族の高齢化に伴い、利用者の健康状態や家庭環境の変化等について、家族や関係事業者と情報共有・意見交換を行いながら支援した。
2	利用者状況・生活環境の的確な把握	○利用者の身体状況や家庭環境の変化をふまえ、正しい利用者基礎情報を把握するよう努め、対応した。 ○利用者の平均年齢が58.3歳と徐々に高齢化が進むに伴い、家庭環境の変化が生じた場合において関係先と連携のうえ対応した。
3	第三者評価を参考にした対応	○適宜、業務マニュアルの見直し・整備を行った。
4	虐待防止・サービス向上の取り組み	○チェックリストに基づく虐待防止セルフチェックを8月と2月に実施した。また、結果をもとに改善計画を作成し、eラーニング動画を視聴しての研修、グループワークによる事例検討の実施などにより、次回結果の改善につなげた。 ○12月～1月に法人全体で開催した虐待防止研修に1名の職員が参加し、グループワークを通して不適切な支援について考える機会を設けた。 ○前年度の事故・ヒヤリハット内容を分析し、9月の虐待防止・サービス向上委員会で報告するとともに職員間で共有した。 ○医療機関と連携し、施設内で利用者対象の健康診断（7月）、歯科検診（12月）及びインフルエンザワクチン接種（11月）を実施した。
5	感染症対応の継続	○基本的な感染症対策を継続した。
6	利用率向上・収入増に向けた取り組み	○利用者の私的理由による欠席はあったが平均利用人数は8.9名（前年度比+0.2名）となった。介護給付費収入は令和6年度報酬改定の影響等もあり、2,594万円（前年度比▲21万円）となった。
7	再編・再整備計画の立案	○自主事業割合の拡大に向けた検討を進め、不動産会社や関係機関から物件情報の収集等を行ったが、物件の確保までには至らなかった。

(3) 今後について

- 利用者の高齢化が進むなかで、引き続き家族・関係機関との情報共有・連携強化に取り組んでいく。
- 利用者の健康維持に向けたサービス提供を進めていく。
- 自主事業として利用者・利用率の拡大を図るとともに、今後の事業のあり方を検討していく。

(4) 主な活動内容

- ①創作活動（手芸、折り紙、塗り絵、絵画等）
- ②文化活動（音楽鑑賞、ビデオ鑑賞、カラオケ、読書等）
- ③健康活動（健康診断、体重測定、ストレッチ、ウォーキング、バランストレーニング、健康観察、血圧・脈拍測定、歯科検診、インフルエンザワクチン接種、保湿剤塗布等）
- ④心身を整えるための活動（足浴、リラックス等）
- ⑤専門職による相談・指導
（作業療法士・嘱託医への相談、看護師による手足爪切り、ダンス指導等）
- ⑥イベント（節分会）

(5) 在籍者状況（令和7年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
令和6年度	11名	58.3歳	18.3年	92.8%	8.9名
令和5年度	11名	57.3歳	17.3年	86.0%	8.7名

令和6年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	2名	4名	5名	0名	0名	0名

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<園管理運営事業>

(1) 概要

- 要約筆記講習会<全3回>を開催して参加者41名（前年度比＋9名）、初級音訳講習会<全11回>を開催して参加者8名（前年度比＋3名）、初級手話<全35回>を開催して参加者16名（前年度比±0名）であった。
- 3月に「地域で生きる障害者問題市民講座」を開催した。今年度は、監督自身の重度知的障害者の弟にカメラを向けた「僕とオトウト」の映画上映会を企画・開催したこと、申込方法を見直したこともあり、参加者は57名（前年度比＋29名）であった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	各種講習会（要約筆記・音訳・手話）の実施	○要約筆記講習会を全3回実施して、参加者は41名（前年度比＋9名）であった。 ○初級音訳講習会を全11回実施して、参加者は8名（前年度比＋3名）であった。 ○初級手話講習会を全35回実施して、参加者は16名（前年度比±0名）であった。
2	障害者等の理解促進に係る啓発事業の実施	○12月に箕面保育園園児の皆さんの交流（福祉車両体験、クリスマスツリーの飾り付け、演奏会）を実施した。 ○3月に「地域で生きる障害者問題市民講座」を開催した。今年度は、監督自身の重度知的障害者の弟にカメラを向けた「僕とオトウト」の映画上映会を企画・開催したことや、申込方法を見直したこともあり、参加者は57名（前年度比＋29名）であった。
3	茶道・華道教室、各種講習会（要約筆記・音訳・手話）の新規受講者開拓	○茶道教室（受講者9名）、華道教室（受講者6名）は毎年受講者が固定されている状況のなか、新規受講者の開拓に向けて広報活動に取り組んだところ、茶道教室に新たな受講者2名を迎えることができた。
4	館内の環境整備	○多様な目的での施設利用が増えるなか、利用者アンケートからも利用環境整備の要望があり、女子トイレや身障用トイレの便器の改修（暖房便座の取り付け）などを行った。 ○館内の設備・物品の状態の確認、不要物品の整理を半年ごとに実施した。
5	駐車場の改善の検討・協議	○駐車場スペースの拡大はこれ以上物理的に難しいなか、白線外に駐車する方への声かけなど、混雑緩和や事故防止に向けてできることに引き続き取り組んだ。

(3) 今後について

- 引き続き、各種講習会、地域交流、障害者に関する啓発事業等を継続的に実施していく。
- 新たな指定管理期間（10年）を見据えて、設備・備品・物品等の管理、更新等の館内環境整備について検討・協議を行っていく。

(4) ささゆり園利用状況

	令和5年度	令和6年度	前年度比
開館日数	320日	317日	99.0%
利用件数	1,575件	1,575件	100.0%
利用件数／日	4.9件	5.0件	102.0%
利用者数	18,233名	18,988名	104.1%
利用者数／件	11.6名	12.1名	104.3%
利用者数／日	57.0名	59.9名	105.0%

事業名		令和5年度		令和6年度		前年度比 (人数比)
		件数	人数	件数	人数	
障害者社会参加促進事業		41	283	39	372	131.4%
[内訳]	①茶道教室	21	131	20	234	178.6%
	②華道教室	20	152	19	138	90.8%
ボランティア育成事業		48	621	49	639	102.9%
[内訳]	①手話講習会「入門・基礎課程」	35	513	35	462	90.1%
	②音訳講習会<令和6年度：初級>	10	76	11	107	140.8%
	③要約筆記講習会	3	32	3	70	218.8%
啓発事業（障害者問題市民講座）		1	28	1	57	203.6%
貸館事業		1,485	17,301	1,486	17,920	103.6%
[内訳]	①障害者団体	766	10,088	740	9,918	98.3%
	②ボランティアサークル	420	4,107	398	4,081	99.4%
	③外郭・行政関係	188	2,330	242	3,166	135.9%
	④その他	102	767	103	752	98.0%
	⑤IT室	9	9	3	3	33.3%
合 計		1,575	18,233	1,575	18,988	104.1%

※会議室等使用団体数(令和7年3月31日現在)

- ・定期利用団体：39団体（前年度比 -6団体）
- ・随時利用団体：7団体（前年度比 ±0団体）
- 【合計】 46団体（前年度比 -6団体）

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<生活介護事業>

(1) 概要

- 4月に医療的ケアが必要な新規利用者1名の受け入れを行ったが、事前の協議・調整を行い、年間通して安定利用してもらうことができた。
- 医療的ケア対応強化のために看護師3名/日から4名/日体制に増員するとともに、支援における訪問看護や医療機関との連携に取り組んだ。
- 利用者の入院等の長期化・重複化に伴い、平均利用人数は13.7名（前年度比▲2.4名）となった。平均利用人数減の影響で介護給付費収入は7,035万円（前年度比▲934万円）、収支差額は▲1,074万円（前年度比▲1,097万円）となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	多様な活動による支援の実施	○5月に5グループに分けて安満遺跡公園、10月に7グループに分けて神戸須磨シーワールドでの園外活動を実施した。
2	延長支援の実施	○個別支援計画に基づき利用時間を延長した支援を男性3名に実施した。また、その時間を活用して嚥下機能トレーニング等も実施した。
3	入浴支援体制の見直し	○日中活動に重点を置き入浴サービス日や開始時間等を随時調整した。 ○入浴希望者に対して他の社会資源（ホームヘルパー、訪問入浴）の情報提供を行った。
4	第三者評価の結果を受けた改善の取り組み	○マニュアルの見直し、掲示物の掲示方法の見直しなどを実施した。
5	介護職員による喀痰吸引等の実施	○新規利用者に医療的ケアを実施するため、喀痰吸引研修（実地研修）を6～7月に実施した。 ○新たに2名（介護職員、添乗員）が基本研修を受講し、異動してきた職員も含めて実地研修を行い、利用者10名に対して4行為の医療的ケアが新たに実施できるようになった。 ○上記研修実施により、生活支援員等17名が喀痰吸引等を実施できる体制となった。
6	虐待防止・サービス向上の取り組み	○チェックリストに基づく虐待防止セルフチェックを8月と2月に実施した。また、結果をもとに改善計画を作成し、研修実施などにより次回のセルフチェックでの改善につなげた。 ○12月に法人全体で開催した虐待防止研修に33名（他部署職員含む）の職員が参加し、グループワークを通して不適切な支援などについて考える機会を設けた。 ○前年度の事故・ヒヤリハットの内容を分析し、その対応について9月の虐待防止・サービス向上委員会で報告するとともに、施設内で共有した。 ○市内の医療機関と連携し、施設内での歯科検診（6月）、健康診断（7月）、インフルエンザワクチン接種（11月）を実施した。
7	感染症対応の強化	○11月に感染症認定看護師による感染症対策研修を実施した。支援現場での感染症対策の取り組みに関する講義と実技による指導を受けて、指導に基づく更なる感染症対策の取り組みの改善に取り組んだ。 ○年間を通して職員、利用者ともに感染症の罹患はみられたが、園内で蔓延することはなかった。
8	医療的ケアのある利用者の地域生活支援の検討	○医療的ケア対応強化のために看護師3名/日から4名/日体制に増員するとともに、支援における訪問看護や医療機関との連携に取り組んだ。
9	利用者確保・利用率向上・収入増に向けた取り組み	○4月に新規利用者1名の受け入れを行ったが、年度途中に利用者1名の逝去により、年度末の利用契約者数は23名（前年度比±0名）となった。 ○利用者の入院等の長期化・重複化に伴い、平均利用人数は13.7名（前年度比▲2.4名）となった。 ○平均利用人数減の影響で、介護給付費収入は7,035万円（前年度比▲934万円）、収支差額は▲1,074万円（前年度比▲1,097万円）となった。
10	新規利用者の受入対応	○4月に医療的ケアが必要な新規利用者1名の受け入れを行ったが、事前の協議・調整を行い、年間通して安定利用してもらうことができた。

(3) 今後について

- 高まる医療的ケアニーズへ対応できるよう、引き続き看護師体制や生活支援員等による支援体制の強化に努めていく。
- 収支状況の改善に向けて、利用率向上による収入増、支出削減等に取り組んでいく。

(4) 主な活動内容

- ① 行事等（プール、園外活動、忘年会、クリスマス会、年度末イベント等）
- ② 健康活動（エクササイズ、足浴、エアマット、ハンモック、スヌーズレン、健康診断等）
- ③ 創作活動（さをり織り、組み紐、ボードゲーム作成、季節ごとの展示物作成等）
- ④ 文化活動（音楽演奏、カラオケ、コンサート、ボウリング、ボッチャ、園芸活動等）
- ⑤ 屋外活動（個別外出、地域活動、清掃活動等）
- ⑥ 作業活動（空き缶つぶし等）
- ⑦ 専門職による相談・指導（作業療法士・嘱託医への相談、音楽療法等）

(5) 医療的ケアの実施状況（令和6年度 利用対象者15名）

内 容		人数
たんの吸引	口腔内	14名
	鼻腔内	11名
	気管カニューレ内部	8名
経管栄養	胃ろう	8名
	腸ろう	2名
	経鼻胃管	3名
経管による与薬	胃ろう	5名
	腸ろう	1名
	経鼻胃管	2名
吸入		3名

内 容		人数
酸素投与（緊急時含む）		2名
人工呼吸器管理		3名
カファシスト		1名
ブジー		1名
浣腸（摘便）		2名
留置カテーテル		1名
導尿		2名
合 計（延べ人数）		69名

(6) 在籍者状況（令和7年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
令和6年度	23名	40.9歳	12.1年	73.4%	13.7名
令和5年度	23名	42.5歳	12.0年	85.2%	16.1名

令和6年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	23名	0名	0名	0名	0名	0名

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<施設入浴サービス事業>

(1) 概要

- 利用者1名の長期入院・自宅療養に伴い、給付費収入は126万円（前年度比▲28万円）となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	サービスの質的向上	○ヘルパー3名に対して、利用者の身体状況の変化などに応じて介護技術指導を実施した。
2	入浴設備更新の検討	○普通浴槽など入浴設備の老朽化が進んでいることから、設備の更新について箕面市と協議を行った。
3	入浴支援体制の見直し	○利用者が固定化・長期化するなか、必要に応じて他の社会資源の情報提供や調整を行うが移行する利用者はいなかった。また、新規利用希望者もなかった。
4	入浴ヘルパーの確保	○ホームページ等でスタッフ募集をかけるなど継続的に募集の取り組みを行ったが、入浴ヘルパーの新規採用には至らなかった。 ○入浴ヘルパーだけで対応できない部分は生活介護事業の職員で対応した。
5	利用者増に向けた取り組み	○利用者1名の長期入院・自宅療養に伴い、給付費収入は126万円（前年度比▲28万円）となった。

(3) 今後について

- 入浴設備の点検を行うとともに、箕面市と協議しながら必要に応じて設備の更新を行っていく。
- ヘルパーに対する新任研修及び介護技術指導の実施により、サービスの質の向上を図っていく。

(4) 施設入浴サービス利用状況

	令和5年度	令和6年度	前年度比
実施日数	243日	243日	100.0%
利用者数	385名	315名	81.8%
利用者数／日	1.6名	1.3名	81.3%

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<社会福祉増進事業>

(1) 概要

- 大阪府登録喀痰吸引等研修機関として、実地研修及び修了申請事務を実施した。
- 令和6年度の修了者数は、延べ31名（全員が当福社会職員）であった。

6. 地域生活総合支援センター

＜共同生活援助事業・日中サービス支援型共同生活援助事業・短期入所事業＞

(1) 概要

- 第4つながりの家について家主と協議を重ねた結果、賃貸借契約を3月末で終了することとなった。関係者や不動産会社を通じて物件探しを行い、箕面市内で新規物件を確保し、3月上旬に新住居への引っ越しを完了した。
- 入居者の高齢化・重度化による通院負担の軽減や緊急時の医療連携強化を図るため、グループホームへの訪問診療・訪問歯科・訪問リハビリ・訪問看護を新規で5名・延べ8件導入した。これにより累計で21名が延べ42件の訪問系医療を利用することとなった。
- 安定した利用状況もあり、平均利用率は97.3%（前年度比+0.7%）、訓練等給付費収入は10,763万円（前年度比+71万円）となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	入居者の高齢化・重度化への対応	○入居者の高齢化・重度化による通院負担の軽減や緊急時の医療連携強化を図るため、グループホームへの訪問診療・訪問歯科・訪問リハビリ・訪問看護を新規で5名・延べ8件導入した。これにより累計で21名が延べ42件の訪問系医療を利用することとなった。
2	余暇支援の充実	○余暇活動計画や個別支援計画に基づき、グループホーム利用者に対する移動支援を年間470件、2,151時間（前年度比+81件、+196.5時間）実施した。
3	世話人との連携強化	○前年度に引き続き、サービス管理責任者の月1回以上のグループホーム訪問や電話・メールでの連絡を継続的に実施した。 ○世話人会議をほぼ毎月オンラインで開催し、情報共有や研修を行った。
4	虐待防止・サービスの質の向上に向けた取り組み	○チェックリストに基づく虐待防止セルフチェックを8月と2月に実施した。また、結果をもとに改善計画を作成し、研修実施などにより次のセルフチェックでの改善につなげた。 ○12月～3月に法人全体で開催した虐待防止研修に32名の職員が参加し、グループワークを通して不適切な支援などについて考える機会を設けた。 ○前年度の事故・ヒヤリハット内容を分析し、9月の虐待防止・サービス向上委員会で報告するとともに職員間で共有した。
5	支援者の確保	○臨時職員2名、登録ヘルパー3名、派遣職員11名を新たに確保した。
6	利用率向上・収入増に向けた取り組み	○365日運営を行っていない3つのグループホームにおいて祝前日運営を計3日間行い、延べ29名が利用した。 ○5月連休時や年末年始における1日あたり平均宿泊者数は14.1名（前年度比+0.8名）となった。 ○安定した利用状況もあり、平均利用率は97.3%（前年度比+0.7%）、訓練等給付費収入は10,737万円（前年度比+71万円）となった。
7	集約や再整備に関する検討	○第4つながりの家について家主と協議を重ねた結果、賃貸借契約を3月末で終了することとなった。関係者や不動産会社を通じて物件探しを行い、箕面市内で新規物件を確保し、3月上旬に新住居への引っ越しを完了した。 ○各ホームの集約化については検討・物件探しを行ったが、適当な物件の確保には至らなかった。

(3) 今後について

- 入居者の高齢化・重度化による通院負担の軽減や緊急時の医療連携強化を図っていくため、訪問系サービスや医療系サービスとの連携・活用をさらに進めていく。
- 重度障害者支援加算算定に向けて、職員の資格取得を推進していく。
- グループホームの集約や再整備について引き続き検討・実施していく。

(4) 在籍者状況（令和7年3月31日現在）

①第2つながりの家

	在籍者数	平均年齢	平均利用率	平均利用人数
令和6年度	28名	50.8歳	91.2%	23.5名
令和5年度	28名	49.8歳	90.9%	23.5名

令和6年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	6名	7名	9名	4名	2名	0名

②第11つながりの家

	在籍者数	平均年齢	平均利用率	平均利用人数
令和6年度	8名	53.5歳	97.3%	7.8名
令和5年度	8名	52.5歳	96.6%	7.7名

令和6年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	1名	6名	1名	0名	0名	0名

短期入所利用状況	年間延べ利用者数
	0名

6. 地域生活総合支援センター

＜居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業＞

(1) 概要

- 令和5年度途中から居宅介護（身体）を利用開始した5名が、令和6年度は1年間通して利用したため、居宅介護の年間提供時間は4,502時間（前年度比+349.5時間）となった。
- 移動支援の年間の提供回数は514回、提供時間は2,536時間（前年度比+79回、+231.5時間）となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	GHにおける居宅介護サービスの充実	○令和5年度途中から居宅介護（身体）を利用開始した5名が、令和6年度は1年間通して利用したため、居宅介護の年間提供時間は4,502時間（前年度比+349.5時間）となった。なお、報酬算定ができない無資格者による居宅介護の提供時間が349時間あった。 ○利用者の高齢化により、通院を往診に切り替えることが多くなり、通院等介助は前年度比▲30.5時間となった。
2	GHにおける余暇支援の充実	○移動支援の年間の提供回数は514回、提供時間は2,536時間（前年度比+79回、+231.5時間）となった。 ○グループホーム利用者に対する移動支援の提供時間は、余暇活動計画や個別支援計画に基づき、提供回数470回、提供時間2,151時間（前年度比+81回、+196.5時間）となった。利用者の高齢化・重度化により、全体的に長時間ではなく短時間のサービス提供が増えた。
3	利用者の新たなニーズ把握、支援方法の検討	○重度訪問介護による住居のあり方などを検討したが、採算面が合わず見送った。
4	登録ヘルパー等の確保	○女性1名、男性2名の新規登録ヘルパーを確保した。
5	有資格従事者の確保・育成	○女性1名、男性2名の有資格の新規登録ヘルパーを確保した。 ○登録ヘルパー向けに「虐待防止・身体拘束適正化指針研修」をテーマにした研修会を3月に実施し、30名が受講した。
6	収入増に向けた取り組み	○居宅介護の介護給付費収入は3,540万円（前年度比+337万円）であった。 ○移動支援の介護給付費収入は617万円（前年度比+63万円）であった。

(3) 今後について

- グループホーム入居者の変わりゆくニーズ把握に努め、ニーズを満たす支援計画を提案し、安全に配慮しながら実施していく。
- 有資格従事者を確保し、提供時間の増加につなげていく。

(4) ヘルパー派遣状況（令和7年3月31日現在）

単位：時間

	居宅介護				同行援護
	通院等介助			身体介護	
	(身体介護なし)	(身体介護あり)	合計		
令和 6 年度	56. 0	256. 5	312. 5	4, 502. 0	201. 0
令和 5 年度	65. 5	277. 5	343. 0	4, 152. 5	208. 5

	移動支援		
	I 類	II 類	合計
	(身体介護なし)	(身体介護あり)	
令和6年度	2,176.0	360.0	2,536.0
令和5年度	1,976.0	328.5	2,304.5

6. 地域生活総合支援センター＜相談支援事業＞

(1) 概要

- 福祉サービスの利用、健康・医療、家族関係・人間関係に関する相談を含め、1,095件（前年度比▲368件）の相談に対応した。
- 年度内で利用契約者数の増減はありながら、年度末時点での利用契約者数は117名（前年度比＋1名）となった。
- 資格要件を満たす職員1名を採用し、補助員として実践経験を積み重ねられるようOJT指導を行った。また、当該補助員の研修申込手続を行い、次年度には相談支援従事者初任者研修を受講できることとなった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	生活状況の把握及び支援内容の検討	○本人・家族の生活状況等を踏まえてモニタリング期間（間隔）の変更を2名に対して行った。（短縮したケース：1名、延長したケース：1名）
2	困難事例への対応	○困難事例（虐待等）2件について、引き続き家族間の様子の確認や日中活動先との情報共有のもと家族との適度な距離感を持てるようにサービス等の調整を行った。他サービス利用についても情報提供を行ったが実利用までには至らなかった。 ○家族の高齢化・入院等に伴い家族に代わって関係機関と調整するケースは増加傾向にあり、継続的に対応した2名を含めて随時対応を行った。
3	箕面市基幹相談支援センター、市内各事業所（委託相談、特定相談）との連携	○基幹相談支援センターから依頼のあったケースについて、面談等に行きするとともに直接的対応（当事業所が計画相談として継続して対応：1名）または間接的対応（他事業所に計画相談を引き継ぐとともに協力して対応：2名）を行った。 ○箕面市自立支援協議会相談支援部会にて「基幹相談支援センター」「委託相談支援」「特定相談支援」のそれぞれの役割を明確にしたことにより、一般相談（委託相談としての案件）での新規相談の件数が前年度より9件増加した。 ○相談支援従事者研修のインターバル研修について、依頼を受けてスーパーバイズの対応を行った。（初任者研修：1名、現任研修：3名）
4	重層的支援体制の中での多機関連携	○箕面市自立支援協議会相談支援部会を通じて、高齢分野の機関（地域包括支援センター及び主任介護支援専門員との勉強会に出席）との関係強化を図った。
5	支援の質的向上	○多職種連携を必要とするケースへの実践（介護支援専門員等との連携）を通じて知識・経験を蓄積し、今後の事例に活かせるように努めた。。
6	相談支援専門員の確保	○資格要件を満たす職員1名を採用し、補助員として実践経験を積み重ねられるようOJT指導を行った。また、当該補助員の研修申込手続を行い、次年度には相談支援従事者初任者研修を受講できることとなった。
7	業務体制の見直し	○相談支援システムを導入し、運用していくなかで業務の改善・効率化を図った。
8	収入増に向けた取り組み	○福祉サービスの利用、健康・医療、家族関係・人間関係に関する相談を含め、1,095件（前年度比▲368件）の相談に対応した。 ○年度内で利用契約者数の増減はありながら、年度末時点での利用契約者数は117名（前年度比＋1名）となった。 ○利用者本人の状況やサービス等利用時の状況を直接確認するため、個々人の状況に応じて訪問を行った。これによりモニタリング241件のうち40件においてモニタリング加算を算定した。また、ケースに応じて担当者会議を6件開催して担当者会議加算を算定した。 ○計画相談支援給付費収入は684万円（前年度比＋9万円）となった。

(3) 今後について

- 重層的支援体制のなかでの多機関連携が重要となってくるため、相談支援事業所同士のヨコの繋がりはもとより、箕面市自立支援協議会などの機会を通じて顔の見える関係づくりに努めていく。
- 困難事例への対応については、関係機関と連携し多様な観点からの生活支援策を中心に検討していく。
- 相談支援の利用契約者のモニタリングに関して、計画通りに実施できるよう相談支援システムを活用して進捗管理を行っていく。

(4) 相談状況（令和7年3月31日現在）

①相談経路別

単位：件

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	合計
訪問	31 (0)	179 (0)	166 (0)	31 (0)	407 (0)
来所	5 (0)	52 (0)	71 (0)	6 (0)	134 (0)
同行	2 (0)	20 (0)	18 (0)	0 (0)	40 (0)
電話	24 (0)	210 (0)	173 (3)	49 (0)	456 (3)
電子メール	4 (0)	7 (0)	4 (0)	0 (0)	15 (0)
個別支援会議	1 (0)	9 (0)	5 (0)	1 (0)	16 (0)
関係機関	2 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	6 (0)
その他	5 (0)	11 (0)	4 (0)	1 (0)	21 (0)
合計	74 (0)	490 (0)	441 (3)	90 (0)	1,095 (3)

※ () 内は児童の相談件数

②相談内容別

単位：件

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	合計
福祉サービスの利用	35 (0)	276 (0)	324 (3)	76 (0)	711 (3)
障害・病状の理解	5 (0)	56 (0)	36 (0)	5 (0)	102 (0)
健康・医療	5 (0)	42 (0)	28 (0)	2 (0)	77 (0)
不安解消・情緒安定	0 (0)	23 (0)	10 (0)	3 (0)	36 (0)
家族関係・人間関係	7 (0)	39 (0)	25 (0)	0 (0)	71 (0)
家計・経済	8 (0)	5 (0)	1 (0)	2 (0)	16 (0)
生活技術	6 (0)	19 (0)	2 (0)	0 (0)	27 (0)
就労	0 (0)	3 (0)	5 (0)	0 (0)	8 (0)
社会参加・余暇活動	8 (0)	18 (0)	2 (0)	1 (0)	29 (0)
権利擁護	0 (0)	6 (0)	7 (0)	0 (0)	13 (0)
その他	0 (0)	3 (0)	1 (0)	1 (0)	5 (0)
合計	74 (0)	490 (0)	441 (3)	90 (0)	1,095 (3)

※ () 内は児童の相談件数

7. 事故・苦情・ヒヤリハット等の状況

(1) 苦情解決システムに基づく対応

苦情解決システムに基づき対応した事案はなかった。

(2) 事故・苦情・ヒヤリハットの取りまとめ状況

①事故

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
誤薬・誤飲	地域生活総合支援センター	9件	内容 与薬忘れ、誤薬 原因 確認不足	与薬確認の徹底
合計		9件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
怪我	あかつき園・ワークセンター ささゆり	3件	内容 転倒、擦過傷、骨折 原因 職員の不注意、利用者の 状況把握不足、環境不備	安全配慮の徹底 環境整備
	地域生活総合支援センター	2件	内容 打撲、裂傷 原因 安全配慮不足 利用者の状態把握不足 障害特性	安全配慮の徹底 環境整備 障害特性に関する支援 スキルの向上
合計		5件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
他傷行為による怪我	あかつき園・ワークセンター ささゆり	14件 (うち対職員3件)	内容 叩く、噛む、転倒、 引っ掻く 原因 安全配慮不足 利用者の状態把握不足 障害特性	利用者の心的状態の適切な把握 安全配慮の徹底 環境整備 障害特性に関する支援 スキルの向上
合計		7件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
自傷行為による怪我		0件		
合計		0件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
器物損壊	あかつき園・ワークセンター ささゆり	1件	内容 イヤーマフの破損 原因 利用者の状態把握不足 障害特性	利用者の心的状態の適切な把握 安全配慮の徹底 環境整備 障害特性に関する支援 スキルの向上
	地域生活総合支援センター	1件	内容 居室壁の破損 原因 職員の不注意	安全配慮の徹底
合計		2件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
無断外出 (所在不明)		0件		
合計		0件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
車両事故	あかつき園・ワークセンター ささゆり	6件	内容 対物接触 原因 確認不足	安全運転の徹底
	ささゆり園	4件	内容 対物接触 原因 確認不足	安全運転の徹底
合計		10件		

その他	(あかつき園・ワークセンターささゆり)		
	・送迎漏れ	1件	
	・送迎車乗り遅れ	1件	
	・給食異物混入	1件	
	(わんすてっぷ)		
	・転倒	2件	
	(ささゆり園)		
	・給食異物混入	3件	

②苦情

部署	件数	内容	原因	解決状況
あかつき園・ワークセンターささゆり	1件	送迎に関するもの	職員の確認不足 職員の情報共有	情報共有の徹底
地域生活総合支援センター	3件	職員の喫煙に関するもの GH運営に関するもの 入居者の予定管理に関するもの	コミュニケーション不足 職員の確認不足	ルールの周知徹底 情報共有の徹底 相互確認の徹底
合計	4件			

③ヒヤリハット

部署	件数	内容	件数内訳
あかつき園・ワークセンターささゆり	214件	* 自傷行為・他傷行為に至る恐れがあった事案 * 器物破損の恐れがあった事案 * 怪我する恐れがあった事案 * 転倒・転落の恐れがあった事案 * 誤飲やむせによる呼吸困難の恐れがあった事案 * その場から移動できない恐れがあった事案 * 車椅子ベルトが外れる恐れがあった事案 * 所在不明に繋がる恐れがあった事案 * 送迎車に乗り遅れる恐れがあった事案 * 誤薬・服薬漏れに繋がる恐れがあった事案 * 他者の荷物を持ち帰る恐れがあった事案 * 給食提供を忘れる恐れがあった事案 * その他の事案	98件 34件 24件 24件 9件 7件 5件 3件 2件 1件 1件 1件 5件
わんすてっぷ	4件	* 転倒・転落の恐れがあった事案 * 所在不明に繋がる恐れがあった事案	3件 1件
ささゆり園	50件	* 物品忘れ・紛失に繋がる恐れがあった事案 * 事故等に繋がる恐れがあった事案 * 身体症状に影響する恐れがあった事案 * 転倒の恐れがあった事案 * 所持品破損に繋がる恐れがあった事案 * 利用者の予定に変更を生じさせる恐れがあった事案	17件 14件 8件 5件 5件 1件
地域生活総合支援センター	131件	* 利用者に経済的不利益を与える恐れがあった事案 * 誤薬・服薬漏れに繋がる恐れがあった事案 * 怪我する恐れがあった事案 * 利用者の日常生活に不便を与える恐れがあった事案 * 身体症状に影響する恐れがあった事案 * 転倒・転落の恐れがあった事案 * 利用者が不穏になる恐れがあった事案 * 利用者の予定に変更を生じさせる恐れがあった事案 * 利用者同士のトラブルになる恐れがあった事案 * 器物損壊の恐れがあった事案 * 火災に繋がる恐れがあった事案 * 所在不明に繋がる恐れがあった事案 * 現金帳の金額に誤差が生じる恐れがあった事案 * 事務作業に支障をきたす恐れがあった事案 * 個人情報漏洩する恐れがあった事案 * 郵送物に遅延をきたす恐れがあった事案	25件 23件 18件 12件 10件 9件 6件 5件 5件 5件 5件 3件 2件 1件 1件 1件
合計	399件		

8. 地域参加・交流状況

(1) クリーン・みのお作戦（主催：箕面市）

開催日 6月9日（日）
参加場所 瀬川：西南小学校周辺、新稲：GH周辺（西小路地区は雨天中止）
参加利用者 瀬川：2名、新稲：9名
職員従事者 瀬川：2名、新稲：7名
内容 公園・道路などの清掃

(2) ふれあいバザー（主催：大阪ガスネットワーク株式会社）

開催日 7月4日（木）、9月27日（金）、10月25日（金）、2月6日（木）
参加場所 大阪ガスビルディング
参加利用者 のべ14名
職員従事者 のべ10名
内容 野菜販売、さをり・指編み製品販売

(3) 西南ちいきみんな食堂（主催：西南地域みんな食堂）

開催日 7月28日（日）
参加場所 西南小学校
職員従事者 4名
内容 さをり織り体験・指編み体験

(4) あかつきまつり（主催：あかつき福祉会）

開催日 10月19日（土）
実施場所 瀬川地区敷地内
来場者 406名
協力団体 7団体
職員従事者 62名（ボランティア含む）
内容 ステージイベント、スタンプラリー、抽選会、ゲームコーナー、授産製品販売など

(5) みんなおいでよ運動会（主催：西南小校区青少年を守る会）

開催日 11月30日（土）
参加場所 西南小学校
参加利用者 2名
職員従事者 5名
内容 運動会運営、競技参加

(6) いきいきふれあい広場（主催：西南小地区福祉会）

開催日 11月17日（日）
参加場所 西南小学校
参加利用者 2名
職員従事者 7名
内容 野菜販売、さをり・指編み製品販売

9. 職員研修実施状況

(1) 法人全体研修

実施日	研修内容	参加者	講 師
5月8、15、22日	入職時研修	8名	当福社会職員
7月～2月 計3回	事例検討会	28名	当福社会職員
8月24日	正規職員研修（BCP研修）	14名	NP0法人ゆめ風基金
8月27日	防犯訓練	28名	箕面警察署
11月1日	感染症対策研修	18名	箕面市立病院
11月6日	摂食嚥下研修	20名	寺嶋歯科医院
11月15、21、22日	普通救命講習	15名	当福社会職員
12月 計9回	虐待防止研修	120名	当福社会職員
合 計		251名	

(2) 事業・施設別外部研修参加状況

※人数は延べ人数

部署	令和5年度	令和6年度
法人本部	4名（3件）	7名（6件）
あかつき園・ワークセンターささゆり	21名（10件）	10名（7件）
わんすてっぷ	0名（0件）	2名（1件）
ささゆり園	16名（4件）	24名（7件）
地域生活総合支援センター	16名（13件）	15名（6件）
合 計	57名（30件）	58名（27件）

部署	研 修 内 容
法人本部	能登福祉救援ボランティアの取り組み、カスタマーハラスメントの事例と対策、社会福祉施設における人材確保対策、社会福祉施設における行動災害の予防、人材確保・定着のために求められること、箕面市人権セミナー
あかつき園・ワークセンターささゆり	安全運転管理者講習、相談支援従事者現任研修、箕面市人権セミナー（5件）
わんすてっぷ	サービス管理責任者更新研修
ささゆり園	サービスマナーセミナー、安全運転管理者講習、喀痰吸引等研修（基本研修）、サービス管理責任者等更新研修、相談支援従事者現任研修、社会福祉施設長研修、箕面市人権セミナー
地域生活総合支援センター	相談支援従事者現任研修、感染制御カンファレンス、相談支援従事者研修（専門別）、箕面市人権セミナー（3件）

※部門内研修は別途実施

10. 実習生受入状況

(1) 進路支援に係る実習

施設・事業	実習元	実人数	延べ日数	目 的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	箕面支援学校	2名	5日	卒業後の進路先の検討
	箕面市障害者事業団	1名	1日	日中活動先の検討
	相談支援事業所ウイズ	1名	4日	日中活動先の検討
合 計		4名	10日	

(2) その他

施設・事業	実習元	実人数	延べ日数	目 的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	関西大学	6名	30日	介護等体験
	箕面市職員	4名	8日	福祉体験研修
ささゆり園	箕面市職員	4名	8日	福祉体験研修
合 計		14名	46日	

11. ボランティア受入状況

施設・事業	受入内容	受入回数	延べ受入者数
総務課	あかつきまつり	1回	8名
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	農園	7回	44名
	所外活動の写真撮影	5回	6名
	イベント（マジック）	1回	1名
ささゆり園	紙芝居	10回	20名
	音楽コンサート	5回	17名
合 計		29回	96名

12. 視察・見学状況

(1) 受入状況

施設・事業	視察・見学元	人数	目 的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	みおつくしの杜	2名	施設見学
	箕面市議会議員・市職員	9名	施設見学
	西南小学校	130名	施設見学
わんすてっぷ	障害者事業団	3名	施設見学
ささゆり園	箕面市議会議員・市職員	9名	施設見学
	箕面保育園	27名	地域交流
	他事業所職員	7名	施設見学
合 計		187名	

(2) 視察・見学実施状況

施設・事業	視察・見学先	人数	目 的
ささゆり園	大阪市立阿倍野防災センター	2名	施設見学
合 計		2名	

13. 講師派遣状況

施設・事業	派遣先	件名	派遣講師
地域生活総合支援センター	大阪府	相談支援従事者初任者研修 (インターバル研修におけるスーパーバイズ)	葛西 則人
	大阪府	相談支援従事者現任研修 (インターバル研修におけるスーパーバイズ)	葛西 則人
	大阪府	サービス管理者等実践研修 (ファシリテーター)	小山 健 鈴木 裕美子
	箕面市	東部・中東部圏域事業所ネットワーク会議 (高齢サービスと障害サービスの併給について)	葛西 則人

14. 役員名簿

(1) 理事

令和7年3月31日現在

役職	氏 名	団体 ・ 職業等	役職名等	区 分
理事長	奥村 一朗	箕面ライオンズクラブ	会員	社会福祉事業経営の識見を有する者
理 事	石田 良美	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会	会長	社会福祉事業経営の識見を有する者
理 事	太田 克己	箕面市民生委員児童委員協議会	会長	事業区域の福祉に通じる者
理 事	吉田 功	元 箕面市職員		事業区域の福祉に通じる者
理 事	長谷川 千波	箕面市健康福祉部	担当副部長	事業区域の福祉に通じる者
理 事	木村 勝也	社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団	事務局長	社会福祉事業経営の識見を有する者
理 事	福田 寛久	社会福祉法人あかつき福祉会 わんすてっぷ	所長	施設管理者

(2) 監事

令和7年3月31日現在

役職	氏 名	団体 ・ 職業等	役職名等	区 分
監 事	大倉 英樹	社会福祉法人慶徳会	事務局長	社会福祉事業の識見を有する者
監 事	阪上 義峰	箕面市会計室	会計管理者	財務管理の識見を有する者

(3) 評議員

令和7年3月31日現在

役職	氏 名	団体 ・ 職業等	役職名等	区 分
評議員	荒木 啓雄	西南小地区福祉会	会長	法人の適正な運営の識見を有する者
評議員	下司 良一	一般財団法人箕面市障害者事業団	副局長	法人の適正な運営の識見を有する者
評議員	榎本 浩之	社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団 きたおおさか福祉センター	センター長	法人の適正な運営の識見を有する者
評議員	植田 恵美子	社会福祉法人息吹	理事長	法人の適正な運営の識見を有する者
評議員	亀谷 雅彦	元 社会福祉法人あかつき福祉会 職員		法人の適正な運営の識見を有する者
評議員	木村 知也	箕面ロータリークラブ	会員	法人の適正な運営の識見を有する者
評議員	笥 加代	社会福祉法人あおば福祉会 瀬川保育園	園長	法人の適正な運営の識見を有する者
評議員	榎原 淳子	箕面市肢体不自由児者父母の会	会長	法人の適正な運営の識見を有する者

(4) 評議員選任・解任委員会委員

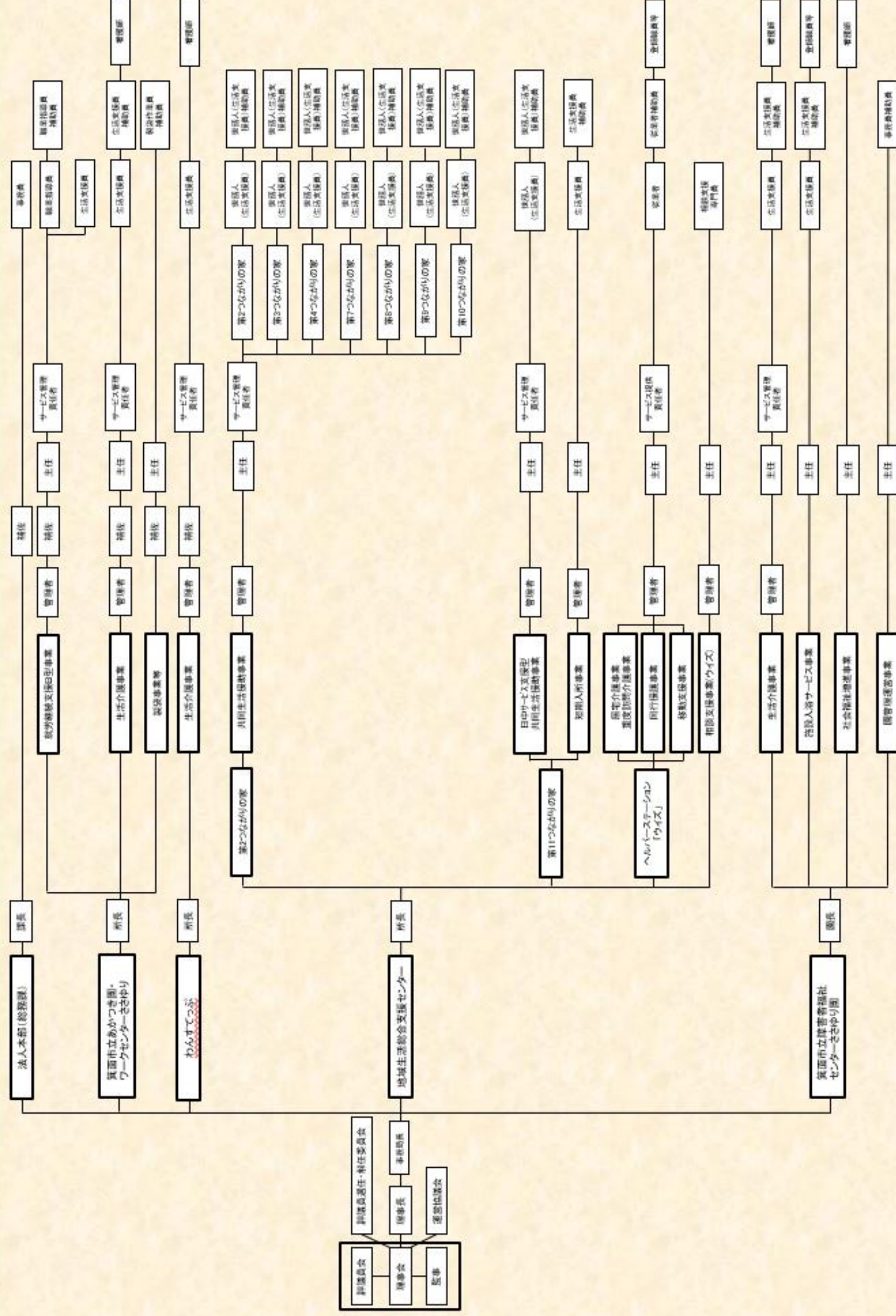
令和7年3月31日現在

役職	氏 名	団体 ・ 職業等	役職名等	区 分
評議員 選任・解任 委員会委員	大倉 英樹	社会福祉法人慶徳会	事務局長	監事
評議員 選任・解任 委員会委員	東 有希子	社会福祉法人あかつき福祉会 箕面市立あかつき園・ワークセンター ささゆり、地域生活総合支援センター	所長	事務局員
評議員 選任・解任 委員会委員	多田 育雄	元 NPO法人監事		外部委員

(5) 運営協議会委員

令和7年3月31日現在

役職	氏 名	団体 ・ 職業等	役職名等	区 分
運営協議 会委員	名淵 須和子	箕面手をつなぐ親の会	副会長	理事長が適当と認める者
運営協議 会委員	久代 美津恵	箕面市身体障害者福祉会	副会長	理事長が適当と認める者
運営協議 会委員	日根 真理	箕面市西南小校区青少年を守る会	幹事	地域の代表者
運営協議 会委員	山本 雅子	箕面市赤十字奉仕団	常任理事	地域の代表者



16. 職員内訳

令和7年3月31日現在

部 署	正規職員	支援職員	臨時職員	合 計
法人本部	2名	3名	1名	6名
あかつき園・ワークセンターささゆり	8名	16名	32名	56名
わんすてっぷ	1名	1名	0名	2名
障害者福祉センターささゆり園	3名	9名	9名	21名
地域生活総合支援センター	3名	12名	11名	26名
合 計	17名	41名	53名	111名

注) 臨時職員数には送迎車運転・添乗等の短時間勤務職員を含み、派遣職員は含まない。
その他、登録職員24名(実質稼働者数)